

令和7年度 置戸町行政評価委員会報告

(令和6年度分)

置戸町行政評価委員会

置戸町行政評価委員会報告

1. はじめに

置戸町では、行政改革大綱に基づく行政改革の取り組みの一つとして、平成16年度に行政評価システムを導入しました。この行政評価では、行政の内部評価と町民による外部評価を取り入れ、評価結果を町民と行政とが共有することで協働のまちづくりを目指すとしてきました。

また、まちづくり基本条例にあっては「町民のための行政」として行政評価が条文化され、第6次置戸町総合計画でも「住民参画によるまちづくりの推進」を実現することがうたわれ、住民参加が求められています。

今年度の行政評価は、令和6年度に委嘱された委員による2年目の評価となります。昨年度の反省やこれまでの経過を活かしつつ、委員会の設置目的、役割を考えながら各種事務事業について議論を重ねました。

本委員会において開催された2回の会議から、委員会としての意見を以下のとおり取りまとめ報告いたします。

2. 委員会の開催状況

令和7年度の行政評価委員会は、次のとおり2回開催しました。

(1) 第1回委員会 ～ 令和7年11月20日（木）

- ・副委員長の選出
- ・評価方法及び選定した事務事業の確認
- ・選定した事務事業の評価作業

(2) 第2回委員会 ～ 令和7年12月2日（火）

- ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認
- ・選定した事務事業の評価作業

3. 評価方法について

今年度の評価事務事業の選定にあたっては、福祉及び教育分野の事業のうち、過去に評価対象となった事務事業をできるだけ選定しないよう、行政側で選定し、委員会に付すべき事務事業として7件の事務事業について評価を行いました。

評価については、令和6年度分の事務事業に対する委員会としての評価を簡潔に記載しました。主管課評価が適正であると判断し、行政評価委員会においても主管課と同じ評価となった事務事業については、委員会としての参考意見を調書に付記し、主管課評価と異なる評価となった事務事業については、その理由や委員会として考えるあり方を記載することとしています。

4. 評価内容報告

置戸町が存続していくためにも、限られた行政資源（財源、人員等）を最大限に有効活用するためには、事務事業の見直しをはじめ、施策や事業の優先化・重点化を時には廃止も含め厳しく精査していくことが必要であると考えます。

今回、7件の事務事業について評価を行いました。評価を進めるにあたっては、置戸町や町民にとって必要な事業として、より良く進められているかを町民の目線で評価することを意識しました。

本委員会の評価結果については、選定した事業7件全ての事務事業が概ね主管課評価のとおりであると判断する結果となりました。主管課評価のとおりと判断した事務事業であっても、評価作業の中で多くの議論が交わされ、評価した事業がより良く進められていくように参考意見を付記しました。

これらの意見が行政内部で議論され、事業検討のきっかけとなり、本年度実施の事務事業や今後の予算編成に反映されることを期待します。

なお、事務事業ごとの外部評価結果については、「令和6年度分 置戸町行政評価委員会評価（外部評価）結果」に記載のとおりです。

5. 各委員からの意見

それぞれの委員から、本年度の行政評価委員会の評価作業の中で出された意見を取りまとめましたので付記します。

◎事務事業全体を通して

- ・町民にとって有益な事業が周知不足によって利用できないということがないように、町民への幅広い周知を意識するとともに、今後さらに利用しやすい、また利用したいという事業となるよう創意工夫をしていただければと思います。
- ・もっと町からの情報発信を積極的に行い、他市町村と比べても優れている点が多くの人に認知されると、通勤に時間をかけてでも置戸町に住みたいという人が増えるのではないかと推測します。せっかく良い事業をしても、知られなければもったいなく、より広く知らせる取り組みも必要だと思います。
- ・スマートフォンやSNSの普及で情報を得られやすくなっている一方で、操作に不安を感じる高齢者や障害を持っている方への情報発信のあり方にも課題を有していると思います。高齢化率が高い町であるため、そのような町民に対しても配慮されることを望みます。
- ・各主管課によってまとめられた行政評価調書の文面だけではわからない、その事業の背景や関わる人の思いなども踏まえて議論する必要があり、事務事業の評価を表面的な部分のみで判断しないように心がけました。

◎評価作業を実施して（感想）

- ・評価の対象を教育と福祉に絞り、評価をする行政評価委員もその分野に関連が深い委員であったことから、活発な意見交換につながったと思います。
- ・行政評価委員として、改めて町の事業を知ることができ、町民の一人として参画することに誇りを感じました。委員会では町民としての思いや考えを述べましたが、行政側の思いも当然のことながらあると思います。委員会によって話し合われたことが今後のまちづくりや事業の方向性の決定に少しでもつながれば幸いです。

本年度の評価作業を終え、これまでの行政評価委員会としての役割を踏まえ、今以上にこの委員会の活動が、第6次置戸町総合計画が目指すまちの将来像である「笑顔と夢を未来につなぐまち おけと」の実現に役立つことを願います。

令和6年度分 置戸町行政評価委員会評価（外部評価）結果

1 事業No.001

事務事業名	乳幼児家庭支援ごみ袋配布事業 (地域福祉センター)
主管課評価	<p>このまま継続</p> <p>有料ごみ袋を無償配布することにより、乳幼児の保護者への経済的負担軽減が図られているため、このまま継続する。</p>
外部評価	<p>このまま継続</p> <p>※主管課評価のとおり</p> <p>事業は、子育て世帯にとって経済的負担が図られることから、このまま継続することが妥当と判断する。 (本事業に限らず) 置戸町の子育て施策はとても手厚く、もっと町外の人たちに知ってもらい、置戸町に住みたいという子育て世帯が増えるように、子育て施策全般の広報や周知を多くしていくと良いと考える。</p>

2 事業No.002

事務事業名	歯科保健事業 (地域福祉センター)
主管課評価	<p>内容を変更し継続(予算:縮小・拡大 事業内容:縮小・拡大)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フッ素塗布は、むし歯予防に繋がるためこのまま継続する。 ・家庭の差をなくすよう集団でのむし歯予防効果を期待し、フッ化物洗口の実施を継続する。 ・児童の1歳6か月児、3歳児、12歳児の管内調査によるむし歯の状況は、いずれも低値であり、事業の効果は表われている。 ・歯周病検診は個別周知が普及啓発にもつながり、受診者にとっては歯周病の予防と早期治療につながるため継続 ・歯科衛生士による健康教育や歯科指導は口腔ケアの方法や知識の獲得、保健行動の改善が期待されるためこのまま継続したいが、歯科衛生士が確保できなければ規模縮小も検討する。

外部評価	<p>このまま継続</p> <p>本町の児童の歯科の状況は、大変優秀であり、今後も歯科教育が続けられていくのが良いと判断し、事業の継続が妥当と判断する。</p> <p>大人になっても歯を大切にしていくことがつながるよう、小さい頃からの歯科指導の取り組みや、口腔ケアの講習会の実施等啓発をしていくことが重要と考える。</p> <p>むし歯予防が将来的な健康維持にもつながるということも情報提供していくと良いのではないかと。</p>
------	---

3 事業No.003

事務事業名	高齢者通院交通費等助成事業 (地域福祉センター)
主管課評価	<p>このまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町外の専門科に受診する高齢者が多く、通院支援につながっている。 ・ 広報周知はしているが、初回申請の方には知友人に教えてもらったという人も多く、広く対象者に周知していくことは必要。 ・ 高齢者が安心して在宅生活を継続するためには適切な受診継続は必須。地域や利用者のニーズに合わせて事業内容を見直しながらも継続が必要。
外部評価	<p>このまま継続</p> <p>※主管課評価のとおり</p> <p>事業は、高齢者等の経済的負担が図られることから、このまま継続することが妥当と判断する。</p> <p>チラシの作成で多くの人目に触れる機会を増やすなど、本事業について対象者に周知していくことは必要と考える。</p> <p>年齢が75歳以上の高齢者が対象である高齢者通院交通費助成事業で、75歳以下の町民で本事業を利用したいというニーズがあるのか、調査し、制度の拡充の可能性も検討してみても良いのではないかと。</p>

4 事業No.004

事務事業名	成年後見利用支援事業 (地域福祉センター)
主管課評価	<p>このまま継続</p> <p>北見地域成年後見中核センターが中心となり、相談や申立ての対応にあたることができている。</p> <p>認知症高齢者や身寄りのいない高齢者は増加してくるため、成年後見制度のみならず、権利を守るという権利擁護の視点からも、必要な時に相談や制度を利用できるよう、町民に周知していくことも重要である。</p> <p>また、制度の利用者が増えることで後見人を担う人材は不足しているため、後見人養成研修の実施の継続と、制度を理解し担い手となっていただく人材の発掘は今後の課題である。</p>
外部評価	<p>このまま継続</p> <p>※主管課評価のとおり</p> <p>主管課の事業評価に記載されているとおり、今後認知症高齢者や身寄りのいない高齢者は増加してくるため、成年後見制度の重要性は増してくると思われる。</p> <p>講演会の実施など、町民の意識醸成に取り組むことはとても良いことであり、町民が制度を知ることができる機会を作ることは必要である。また、成年後見制度に関して、知識を深める機会もあつたら良いと考える。</p> <p>今後、事業実施に係わる財源が減少しても、必要な事業であると認められるため、継続していくことが望ましい。</p>

5 事業No.005

事務事業名	置戸高等学校支援対策協議会交付金 (学校教育課)
主管課評価	<p>このまま継続</p> <p>置戸高校存続運動の推進及び生徒数確保のため、このまま継続する。</p>

外部評価	<p>このまま継続 ※主管課評価のとおり</p> <p>置戸高等学校存続に向け、町からの支援は今後も必要と考える。町だけではなく、地域や関係者みんなが盛り立てていけると良い。</p> <p>(支援対策協議会に対して)置戸高等学校にはプロフェッショナルコースとダイバーシティコースがあることを中学生のみならず、町内にももっと広くPRすべき。このPRによって、置戸高等学校でもダイバーシティコースで普通科に近い内容を学ぶことができるということが浸透すると、中学生の進路選択の幅を広げられることにつながり、地元の高校も進路の1つとして選ばれるようになっていくのではないかと。</p> <p>(置戸高等学校に対して)在校生が学校の魅力や特長を置戸中学生以外の多くの中学生へ直接伝えられる機会があれば、福祉のやりがいを訴えることができるのではないかと。また、その中学生達の保護者も一緒に交流を図ることができたら、置戸高等学校を広く知ってもらいきっかけになるのではないかと。SNSによる配信もより多くの人に見てもらえるように宣伝することが重要と感じており、宣伝内容や方法について工夫をしながら取り組んでいくことが大切だと考える。</p>
------	---

6 事業No.006

事務事業名	町民文化祭実行委員会交付金 (社会教育課)
主管課評価	<p>このまま継続</p> <p>置戸町における文化団体・サークルによる唯一の総合的な発表機会であり、多くの町民が鑑賞を楽しみにしている事業であることから今後も継続する。</p> <p>高齢化などで活動が縮小傾向にある団体へはそのジャンルにおける公民館講座の開催などで関心を高めてもらう等の支援を実施する。</p>

外部評価	<p>このまま継続 ※主管課評価のとおり</p> <p>子どもから大人まで何歳であっても、「知る」や「学ぶ」、「できる」ということは大事なことであり、観客の前で日頃の成果を発表する場があることは励みになることから、良い機会だと思う。</p> <p>各団体の活動が縮小している状況であれば、公民館教室の開催や興味を持った人への情報提供によって新たに各団体に加入するきっかけづくりができると良いと思う。</p>
------	---

7 事業No.007

事務事業名	スポーツ大会事業 (社会教育課)
主管課評価	<p>このまま継続</p> <p>各種スポーツ大会は、体力向上や健康維持、スポーツ振興のために可能な限り継続する。また、参加者の裾野を広げる取り組みとして、初心者も気軽に参加できるよう検討する。</p>
外部評価	<p>このまま継続 ※主管課評価のとおり</p> <p>各種スポーツ大会を開催し、スポーツ振興をすることは健康維持や体力向上の観点から重要であり、このまま継続することが望ましい。</p> <p>主管課の記載にもあるように、参加条件の見直しなどを検討し、色々な人が参加しやすいように裾野を広げる工夫をすることが今後の各種スポーツ大会の盛り上がりにつながると思う。また、置戸町民になって日が浅い人であっても、開催情報がわかるように情報発信をできると良い。</p> <p>既存の大会以外にも、新たな視点でスポーツ大会を新規創設（例：モルック大会など）することも検討してはどうか。</p>

置戸町行政評価委員会委員

任 期：令和7年1月31日～令和8年3月31日

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
委 員 長	岸 澄美子	副 委 員 長	武 田 祐 仁
委 員	大 友 佳 女	委 員	篠 原 亜 実
委 員	早 坂 昌 春	委 員	湊 美 保
委 員	山 久 美 羽		